

(社) 日本建築学会 近畿支部  
2011 年度第 4 回空気環境部会議事録 (案)

日時：2012 年 1 月 25 日 (水) 17:00~19:30

場所：日本建築学会近畿支部会議室

出席者：安福、井上、甲谷、小林、萬羽、檜崎、山中 (主査)  
桃井 (幹事)、東(実) (幹事、記録)

資料：・議事次第	資料 4-1
・2011 年度第 2 回空気環境部会議事録(東幹事)	資料 4-2
・第 4 回空気環境シンポジウム (案) (東幹事)	資料 4-3
・第 4 回空気環境シンポジウムポスター (案) (桃井幹事)	資料 4-4
・24 時間自然換気住宅の CFD 解析計画 (案) (小林委員)	資料 4-5
・24 時間自然換気住宅 (Y 邸) の住まい方の現状について (萬羽委員)	資料 4-6

議事：

- ・ 前回議事録 (2011 年度第 3 回) が承認された。[資料 4-2]

1. 第 4 回空気環境シンポジウム「住宅換気の現状と今後のあり方を考える ～何故住宅は自然換気だけではいけないか～？」について

資料 4-3 に基づき、全体の流れ・時間配分等について議論した。

- ・タイムスケジュール

講師数が多いため入れ替えの時間等を考慮し、当所予定時間を繰り上げ、以下の時間配分にすることとした。

13:00 開場 受付担当：部会幹事

前半司会 桃井幹事

1. 趣旨説明

13:15-13:20 (山中主査)

2. 住宅の 24 時間換気の現状と問題点

13:20-13:40 住宅の 24 時間換気にかかる近年の課題(田島昌樹:国立保健医療科学院)

13:40-13:55 24 時間換気の運用とメンテナンスの実態 (東実千代:畿央大学)

13:55-14:10 室内空気質の現状:空気質はどれほど良くなったか (東賢一:近畿大学)

3. 寒冷地のパッシブ換気システムに学ぶ

14:10-14:30 寒冷地のパッシブ換気システムのメカニズムと 24 時間機械換気システムの位置づけ (山田裕巳:松江工業高等専門学校)

14:30-14:45 休憩(15分)

後半司会 東幹事

4. 温暖地のパッシブ換気システムの性能と提言

14:45-15:00 鉛直ダクト利用パッシブ換気のメカニズム (山中俊夫:大阪大学)

15:00-15:15 パッシブ換気住宅における住まい方の一例 (萬羽郁子:近畿大学)

15:15-15:30 パッシブ換気住宅における温熱環境・換気量の実態 (桃井良尚:大阪大学)

15:30-15:45 熱・換気シミュレーションからの検討 (小林知広:立命館大学)

15:45-16:00 消費エネルギーからの検討 (安福勝:近畿大学)

5. 総合討論 司会 甲谷委員

16:05~17:00

コメンテーター : 栗林賢次氏・山田委員・阿部委員他

- ・参加費について  
会員 1,500 円，非会員 2,000 円，学生 500 円とし、幹事が収支計画を作成する。
- ・協賛団体については、阿部委員に確認する（東幹事担当）。
- ・進捗状況について  
委員以外の講師については、原稿を依頼済み（2月末締切）（桃井幹事）  
部会員宛の依頼を至急行う（桃井幹事）
- ・パッシブ換気住宅における住まい方について[資料 4-6]  
各季節の温熱環境の平均的な傾向、夏期の窓開け・冷房使用状況の時系列変化等についてまとめたデータが示された。今後、床暖房方式や深夜電力に関する情報を整理する。
- ・24 時間自然換気住宅の CFD 解析計画について[資料 4-5]  
資料 4-5 に基づき、簡易化した住宅モデルと解析領域、解析手法、解析条件について議論した。住宅の周辺領域（外部環境）を狭めて風圧力が働かない条件でどの程度換気量が確保できるかを無風・室内発熱・完全断熱・自然対流とし、温度条件を与えて計算してはどうか等の意見があった。

次回部会 日時：5月9日（水）17:00~19:30  
場所：近畿支部会議室  
内容：今年度の活動計画他

以上